

11/18 (土) 第17回世界湖沼会議開催記念 涸沼ウォーキング大会



平成30年10月に茨城県で開催される第17回世界湖沼会議（いばらき霞ヶ浦2018）を記念して、18日に涸沼ウォーキング大会が開かれました。

参加者は涸沼自然公園をスタートし、茨城県観光ボランティアガイドの説明を聞きながら、広浦や前谷地区周辺を散策。また、ウォーキング後には、地元特産のしじみ汁やトマトを味わい「自然の豊かさを感じた。しじみ汁も美味しかった。」と涸沼の魅力を満喫した様子でした。

11/19 (日) ブラインドサッカーで理解を深める 人権啓発講演会

「障がい者スポーツと人権」をテーマにした人権啓発講演会が、町中央公民館で開催されました。

（公財）茨城県サッカー協会 加藤貴之インクルーシブ委員長を講師に招き、パラリンピックでも正式種目となっているブラインドサッカーやアンパティサッカーを体験。障がい者の置かれている状況などについて理解を深めました。また、水戸ホーリーホックのマスコットキャラクターであるホーリーくんや、ひぬ丸くんも参加し、子どもたちと一緒にブラインドサッカーを楽しみました。

11/15 (水) 茨城のPRと郷土愛の醸成 大好き いばらき ネットワーカー活動推進大会



県内各地において地域活動を行っているネットワークワーカーのスキルアップと交流を目的とし、大好き いばらき ネットワーカー活動推進大会が町中央公民館で開催されました。

茨城大学 田村誠准教授による講演では「涸沼、茨城町での住民協働」をテーマに、涸沼の将来と住民の関わり合いについて話されました。また、いばらき大使 林家まる子さんによる「茨城弁を楽しく学ぼう！」の講演などもあり、地域の資源を守ることの大切さや茨城の魅力を再認識する機会となりました。



11/30 (木) 大好き いばらき 県民運動 表彰式 第45回花と緑の環境美化コンクール中央表彰 茨城町から2団体受賞

大好き いばらき 県民会議が主催する「第45回花と緑の環境美化コンクール」の表彰式が11月30日に水戸プラザホテルにおいて開催されました。

県内各市町村から選ばれた773の団体及び学校の中から、76団体が表彰され、町最優秀賞を受賞した茨城町立葵小学校が茨城県議会議長賞を受賞。町優秀賞を受賞した鳥羽田女性会が茨城県教育委員会教育長賞を受賞しました。

**受賞団体**  
茨城県議会議長賞 学校の部  
茨城町立葵小学校（町最優秀賞受賞）

茨城町立葵小学校 米川 順子校長先生  
「本校の花壇は、児童・保護者・職員が協力して作り上げた花壇です。みんなの頑張りや、このような素晴らしい賞をいただけて、大変光栄です。この活動で子どもたちの心が豊かに育つことを願っています。」



茨城県教育委員会教育長賞 地域の部  
鳥羽田女性会（町優秀賞受賞）

鳥羽田女性会 萩谷京子さん  
「今回の受賞は、鳥羽田女性会の名前でいただいておりますが、区長さんをはじめ地域の方々のご協力があったからだと思っております。本当にありがとうございます。ありがとうございました。」



10/19 (木) 秋篠宮殿下来町 「飯沼栗」の栗園をご視察

公益社団法人大日本農会の総裁を務める秋篠宮殿下は、平成29年6月に栗として日本初となる地理的表示（GI）保護制度に登録された「飯沼栗」の栽培状況をご視察になりました。

秋篠宮殿下は、下飯沼栗生産販売組合の樹園地を訪れ、組合長の田口一彦さんと組合員の大山公夫さんからの説明を受けながら、一穂一栗の栽培方法や害虫対策などについて熱心にご質問になり、今年収穫された「飯沼栗」をご試食されました。



11/3 (金) 幅広い世代がサッカーを楽しむ 茨城町マラソンサッカー大会



第14回茨城町マラソンサッカー大会が町運動公園で開催され、37チームが参加しました。

大会では、少年団父母チーム同士の試合や、中学生対社会人の世代を超えた交流戦がおよそ10時間にわたって行われ、グラウンドには選手たちの元気な声が響きわたりました。

11/11 (土) シルバーリハビリ体操教室 講演会&合同体操を実施



茨城町シルバーリハビリ体操指導士会の主催により、シルバーリハビリ体操教室講演会&合同体操が町中央公民館で開催されました。

講演会では、講師の長谷川聡先生が「シルバーリハビリ体操と生活習慣」というテーマで、症状に合った生活習慣の改善ポイントをアドバイス。また、「椅子の体操」なども行われ、参加者は熱心に身体を動かしました。

11/2 (木) 地域コミュニティを学ぶ 地区の活動紹介及び講演会



茨城町集落センター運営協議会（和家孝之会長）は、地域コミュニティの維持・活性化に繋がる活動に自主的に取り組んでもらおうと、地区の活動紹介及び講演会を開催。会場の町駒場庁舎には、72人の参加者が集まりました。

事例紹介では、中山地区と上飯沼地区の2地区のセンター長（大貫光一さん、市毛栄さん）が、その地域の特長を生かした活動を紹介。また、江戸川大学 大内田鶴子教授の講演会では「都市部や海外での現状と比較し、地域コミュニティは世界共通の価値ある組織である。」とお話され、参加者は真剣に耳を傾けていました。